

# 障害者の生活支援を考える

## 福祉工房 Kid's Dream 福祉セミナー

シリーズ第4回 基本テーマ〈重い障害を持つ人の生活支援を考える〉

### ～ 意欲を育む心の支援を考える ～

福祉工房「Kid's Dream」では、障害をお持ちの方々の生活が少しでも快適なものになるための支援システム作りを目指しています。重い障害をお持ちの方やそのご家族、福祉・医療・保健分野における専門職、学生、ボランティア等の方々に向けて、技術的側面からの支援方法や支援機器等の情報を広く紹介し、理解の輪を広げてもらう場として、今後もシリーズでセミナーを開催していきます。

今回は、誰もが自分の目的と居場所と役割を見つけ、生き生きと暮らしていくための心のもち方と支援の必要性について、皆さんと共に考える場にしたいと思います。

#### 講演 1

### 「どうなる？ 支援費、どうする？ 介護保険」

(社福)大垣市社会福祉協議会次長

厚生労働省「障害者(児)の地域生活支援のあり方に関する検討会」委員 **早崎正人氏**

#### 講演 2

### 「福祉・医療と癒しの国のアリス」

医学博士、日本医科大学医療管理学教室教授

「癒しの環境研究会」代表世話人、「21世紀癒しの国のアリス」会長

**高柳和江氏**

#### プロフィール

神戸大学医学部卒業。順天堂大学外科専攻生を経て徳島大学大学院博士課程修了。クウェート国に渡り、国立アル・サバー病院、イブン・シナ病院で10年間を小児外科医として過ごす。1987年帰国。千葉県亀田総合病院小児外科医長、院長補佐を歴任。1991年より日本医科大学助教授(医療管理学)。1992年米国アイオワ大学附属病院院長付研究員。厳しい審査で知られる英国小児科学会に認定されたのは日本人としては5人目である。放送大学(患者からみた医療)の講師としてもファンが多い。順天堂大学小児外科非常勤講師、文京学院大学大学院客員教授。著書/「生き方のコツ」「死に方のコツ」「続・死に方のコツ」(以上、飛鳥新社)、「死ぬのは、十分生きてからにしてください。」(毎日新聞社)、「癒しの国のアリス——人間としての尊厳と権利を求めて」(医歯薬出版)、「砂漠とハイヒール」(春秋社)、「パッチ・アダムス いまみんなに伝えたいこと」(共著、主婦の友社)など多数。医療関係向けの著書/「よくわかる患者安全管理」「医療の質」「人間医療学」など多数。



#### 特別企画



### 増田太郎ミニライブ 毎日が歌ってる

目が見えないけれど、  
歌い続けてきたから  
見えてきた  
人と響き合いながら  
生きる素晴らしさ

#### プロフィール

ミュージシャン。5歳よりヴァイオリンを始め、ギター、ピアノ、ボーカルをこなす。幼い頃から弱かった視力を20歳で失い、突如、世界観が大きく変わる。1997年12月、NHK「みんなのうた」にて、楽曲「雲」が2ヶ月にわたり放送。2002年、はじめてのエッセイ《毎日が歌ってる》すばる舎より出版。2002、2003年、ニッポン放送はじめて全国9局ネット「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で、森山直太郎とともに全国のラジオ局に出演。森山直太郎の楽曲(手紙)にヴァイオリンで参加。彼のヒット曲《さくら》と同じシングルに収録される。2003年4月～2004年3月、ニッポン放送はじめて21局ネット「オールナイトニッポンレコード」(土曜深夜27時)でコーナーを担当。(IBMパソコン&音声ソフト)モニター。ライブやラジオ出演ほか、講演活動に積極的に飛びまわっている。

日時

平成  
16年

**10月31日(日) 13:00～16:30**

場所

**JR岐阜駅 アクティブ-G 2階 匠ミュージアム**

参加申込み

氏名、職業、住所、電話番号を記入してFAXまたはE-mailで、10月20日迄にお申込みください。  
**FAX.0584-77-0533 E-mail : 0077@kids-dream.jp**

問い合わせ

福祉工房「Kid's Dream」TEL.058-266-7455 岐阜市橋本町1-10-1 Active-G 3F 318  
<URL:http://kids-dream.jp>

主催 岐阜県/福祉工房「Kid's Dream」 共催 岐阜県産業文化振興事業団 後援 岐阜県医師会/岐阜県看護協会/岐阜県社会福祉協議会/岐阜県身体障害者福祉協会/岐阜県健康長寿財団/岐阜県作業療法士会/岐阜県理学療法士会/岐阜県社会福祉士会/岐阜県難病者団体連絡会/頸髄損傷者連絡会・岐阜